

平成 22 年 5 月 9 日  
組織行動分科会 加藤

### 組織行動分科会議事録

日 時：平成 22 年 5 月 9 日（日）14:00 ～ 17:00

場 所：テクノ菱和 港営業所

参加者：石橋明、茂木真、酒井雄二、高橋祐一郎、大橋光三、中村弘、加藤豊、  
（記）

要 旨：本日は、次の内容について議題について議論を行った。

議 題

- 1、 春季江戸川大学公開講座について
  - 2、 組織体制の再確認、新年度からの分科会会員の確認
  - 3、 今までの講座の資料のまとめ
  - 4、 失敗学会年次大会に向けての組織行動分科会としての研究テーマ
  - 5、 定例会での各自の研究内容発表（担当を決めて進めて行く）
  - 6、 ホームページのアップデート
  - 7、 その他
- 
- 1、 春季江戸川大学公開講座について
    - ・ 次回江戸川大学の公開講座は春季講座に向けて進めることとなった。  
講座案：会員より講師を募り講座リストをあげる。  
講座内容  
医療関連の内容・・・酒井さん又は川路さん  
組織に関しての内容（NASA など）・・・石橋さん  
組織の意思決定の問題（属人的思考問題など）  
CRM「(コックピット → クルー → コーポレート)・  
リソース・マネージメントへ」に関して  
建築関連（建築と設備の文化の違い）・・・加藤  
中国産食品関連・・・・・・・・・・茂木さん  
報道関係・・・・・・・・・・濱田さん・牧野さん（確認する）  
受講者の増員に対する対応を考える、メディアをつかって増員をは  
かる、宇於崎さんにアドバイスをもらう。
    - ・ 開催は平日の夕方とする、18:30～

- 2、 組織体制の再確認、新年度からの分科会会員の確認
  - ・ 現在組織行動分科会の新年度会員数は17名  
意思の確認が取れていない一部メンバーに再度連絡する。
- 3、 今までの講座の資料のまとめ
  - ・ 資料として、今までのお茶の水女子大学・明治大学・江戸川大学の公開講座のシラバス等を配布。
  - ・ 過去の演題資料もとに、担当者を募る、会員から担当希望を確認する、またそれ以外で資料があればまとめる。
  - ・ 出版を想定した資料まとめを、年末に向けて進める。
  - ・ 今まで講演した資料（原稿）を事務局で取りまとめ、まず簡易的な冊子（PDF など）としてから、出版の検討をおこなう。
- 4、 失敗学会年次大会に向けての組織行動分科会としての研究テーマ
  - ・ 12月の土曜日に行う予定であるのでそれに向けて進める。
  - ・ 組織行動分科会としての統一テーマをまとめる。  
CRMという観点から見たとき各自の専門分野でまとめる。  
「CRM」を視点として整理する。  
石橋さんに「CRM」に関しての概要を6月定例会、具体的な内容に関して7月の定例会で説明をいただく。
- 5、 定例会での各自の研究内容発表（担当を決めて進めて行く）
  - ・ 約30分程度の発表
  - ・ 6月度担当 大橋さん（内部統制と防護壁に関して）  
7月～10月 担当未定
- 6、 ホームページのアップデート
  - ・ 最近の議事録関連をホームページのアップデートをする。
- 7、 その他
  - ・ 世論調査の数値と報道の問題、批判のみの報道に流されている。
  - ・ 話題提供 高橋さんから、医療費用の請求問題に関しての資料の説明を受けた、（週刊現代・5月22日号）P162～165
  - ・ 失敗学会のホームページにある組織行動分科会の連絡先の確認。
  - ・ 会員のプロフィールを、明治大学の時に作成した程度の内容で各自まとめておく。

- ・分科会の出席に関して失敗学会よりポイントがつくので、出席確認票を作成。
- ・ユーザービリティ「メーカー思考から使用者思考へ ISO 13407にユーザービリティに関して記述」があるので話題となった。
- ・一部メンバーのメールアドレス変更。
- ・秋頃を目処に研究の議論を行う合宿の提案があった。
- ・図書紹介  
「JAL崩壊」 ある客室乗務員の告白  
文春新書 ￥740+税

次回の組織行動分科会は6月13日 (日)14:00～

テクノ菱和 港営業所にて

- 1、 春季江戸川大学公開講座について
- 2、 組織体制の再確認、新年度からの分科会会員の確認
- 3、 今までの講座の資料のまとめ
- 4、 失敗学会年次大会に向けての組織行動分科会としての研究  
(CRM) 石橋さんよりの内容説明
- 5、 その他

以後の分科会日程

テクノ菱和 港営業所にて

7月11日(日)14:00～

以上